



KYODO PAPER HOLDINGS



2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月9日

上場会社名 株式会社共同紙販ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9849 URL https://www.kyodopaper.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 郡司 勝美
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 木村 純也 TEL 03-5826-5171
 定時株主総会開催予定日 2023年6月29日 配当支払開始予定日 2023年6月30日
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無： 無
 決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	17,023	20.9	153	—	184	—	101	△41.1
2022年3月期	14,085	6.5	4	9.6	13	△18.9	171	336.2

(注) 包括利益 2023年3月期 175百万円 (△22.8%) 2022年3月期 227百万円 (429.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	151.18	—	2.7	1.9	0.9
2022年3月期	256.47	—	4.8	0.2	0.0

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 △0百万円 2022年3月期 △0百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	10,198	3,833	37.6	5,724.70
2022年3月期	9,691	3,691	38.1	5,511.97

(参考) 自己資本 2023年3月期 3,832百万円 2022年3月期 3,690百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	163	△36	△39	869
2022年3月期	△325	△256	△172	781

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	33	19.5	0.9
2023年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	33	33.1	0.9
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00		31.9	

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,100	0.4	154	0.4	185	0.1	105	3.7	156.82

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
除外 1社（社名）わかば紙商事株式会社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	735,344株	2022年3月期	735,344株
② 期末自己株式数	2023年3月期	65,810株	2022年3月期	65,767株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	669,573株	2022年3月期	669,577株

(参考) 個別業績の概要

2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	17,045	27.7	131	—	173	—	350	—
2022年3月期	13,350	0.9	△31	—	△11	—	△84	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	522.99	—
2022年3月期	△126.22	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2023年3月期	10,243		3,757		36.7	5,612.21		
2022年3月期	8,404		3,366		40.1	5,028.40		

(参考) 自己資本 2023年3月期 3,757百万円 2022年3月期 3,366百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

期初の企業再編により取込んだ産業用紙部門の収益が純増になったことと、価格修正が進展したこと等により、売上高、営業利益、経常利益は前期実績を上回りました。また、当期純利益も、当期において抱合せ株式消滅差益を特別利益に計上したことにより前期実績を上回りました。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況 (1) 当期の経営成績の概況 ② 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当期の財政状態の概況	P. 3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	P. 3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	P. 3
3. 連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 連結貸借対照表	P. 4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	P. 6
連結損益計算書	P. 6
連結包括利益計算書	P. 7
(3) 連結株主資本等変動計算書	P. 8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	P. 11
(セグメント情報等)	P. 11
(1株当たり情報)	P. 13
(重要な後発事象)	P. 13
4. その他	P. 14
品目別売上高	P. 14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当期の経営成績

当連結会計年度における我が国経済は、コロナ感染症の規制が徐々に緩和され、期後半には経済活動が正常化に向かい、景気は緩やかに持ち直して推移しました。一方で、世界的な資源・食糧価格の高騰により国内においてもあらゆる生活用品価格が上昇し、個人消費や企業収益を圧迫して経済・社会に深刻な影響を及ぼしております。

国内紙流通業界におきましては、イベント関連やインバウンド需要が一部回復してきたものの、原燃料価格の高騰・物流コストの上昇を背景とした製紙メーカー各社の大幅な価格修正や、情報・広告分野を中心にデジタル媒体へのシフトが一段と加速するなど、一層厳しさを増しております。

このような状況下で当社グループは、市況動向を丁寧に説明しながら適正価格販売に注力するとともに、期初の企業再編で取込んだ産業用紙分野の販売拡大や、環境問題に配慮した森林認証紙の販売強化など、グループ全体で連携して収益改善に取り組んでまいりました。

当期の売上高は、デジタル化進展に伴う帳票類の需要減が顕著となり情報用紙の販売数量が前年を下回りましたが、新設した産業用紙部門の板紙・包装用紙の販売が純増となったことと、期後半から価格修正による適正価格販売が進展したこと等により、前期と比較して増収となりました。

利益面についても同様の理由により営業利益と経常利益は増益となりましたが、前期において負ののれん発生益の特別利益計上があったことから、親会社株主に帰属する当期純利益は減益となりました。

その結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高17,023百万円（前年同期比20.9%増）、営業利益153百万円（前年同期は4百万円）、経常利益184百万円（前年同期は13百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益101百万円（前年同期比41.1%減）となりました。

売上高をセグメント別にみますと、洋紙卸売事業が16,935百万円（前年同期比20.8%増）、不動産賃貸事業が109百万円（前年同期比28.4%増）、物流事業が302百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

② 今後の見通し

国内紙流通業界を取り巻く環境は、株主総会資料の電子提供制度やインボイス制度、更に電子帳簿保存法等、紙媒体の減少に拍車をかける政策が相次ぎ、紙需要の減少基調はますます加速すると予想されます。

こうした環境下において当社は、廃棄予定の農産物の残渣を粉碎し古紙と混合して製造した紙を、この度「サラダペーパー」の名称で商標登録いたしました。まずはキャベツの芯を混抄した紙の上市に向けた活動を進めており、フードロス削減や焼却時のCO₂削減など、SDGsを強く意識して新たな商品開発に取り組んでおります。引き続き、当社PB商品をはじめとした森林認証紙の販売を強化し、紙及び紙製品の販売活動を通じて持続可能な社会と環境問題に貢献してまいります。

当社グループは、今後とも、きめ細かい営業活動を通して顧客との信頼関係を一層深め、安定供給と適正価格を維持した販売に努めるとともに、新商材の創出など取扱商品の多角化にも積極的に取り組み、企業価値向上を目指してまいります。

2024年3月期の連結業績につきましては、以下のとおり計画しております。

売上高	17,100百万円
営業利益	154百万円
経常利益	185百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	105百万円

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減
資産	9,691	10,198	507
負債	6,000	6,365	364
純資産	3,691	3,833	142
自己資本比率	38.1%	37.6%	△0.5%

- ・資産は前連結会計年度比507百万円増加しました。これは主に、売上債権が146百万円、商品が346百万円それぞれ増加したためであります。
- ・負債は前連結会計年度比364百万円増加しました。これは主に、仕入債務が353百万円増加したためであります。
- ・純資産は前連結会計年度比142百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が67百万円、その他有価証券評価差額金が74百万円それぞれ増加したためであります。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は前年同期に比べ87百万円増加し、869百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は163百万円（前年同期は325百万円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益の計上等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は36百万円（前年同期は256百万円の使用）となりました。これは主に、有形・無形固定資産及び投資有価証券の取得等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は39百万円（前年同期は172百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払いによるものであります。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は株主の皆様のご期待に応えるため、経営基盤の強化と収益力向上に努めてまいります。

利益配分につきましては、業績状況を勘案した上で可能な限り安定した配当を維持していく方針であります。

当社の剰余金の配当は期末配当の年1回を基本としておりますが、当社は会社法第459条第1項に基づき、取締役会の決議によって「基準日を定めて剰余金の配当をすることができる」旨を定款に定めております。

これらの方針に基づき、当期の期末配当金につきましては、1株につき50円とさせていただきます。（連結配当性向33.1%）

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの業務は日本国内に限定されており、海外での拠点がなくことから、利害関係者の多くは国内の株主・債権者・取引先等であり、また海外からの資金調達の実現性も乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	781,812	869,377
受取手形及び売掛金	3,416,346	3,481,848
電子記録債権	789,952	870,699
商品	1,246,282	1,592,507
未収入金	488,363	505,513
その他	68,781	42,315
貸倒引当金	△1,570	△434
流動資産合計	6,789,969	7,361,827
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,898,793	1,903,668
減価償却累計額	△1,117,992	△1,160,192
建物及び構築物（純額）	780,800	743,475
機械装置及び運搬具	239,037	239,037
減価償却累計額	△189,969	△206,773
機械装置及び運搬具（純額）	49,068	32,263
土地	956,795	956,795
その他	98,434	101,299
減価償却累計額	△88,049	△93,301
その他（純額）	10,385	7,998
有形固定資産合計	1,797,050	1,740,532
無形固定資産		
のれん	239,142	199,285
ソフトウェア	77,946	66,392
無形固定資産合計	317,089	265,677
投資その他の資産		
投資有価証券	374,966	494,888
出資金	221,261	219,721
繰延税金資産	114,140	38,303
その他	77,438	78,037
投資その他の資産合計	787,806	830,951
固定資産合計	2,901,945	2,837,161
資産合計	9,691,914	10,198,989

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,266,085	5,637,688
電子記録債務	179,150	161,346
賞与引当金	15,325	46,350
その他	115,480	197,150
流動負債合計	5,576,042	6,042,535
固定負債		
退職給付に係る負債	307,198	271,152
繰延税金負債	58,216	—
その他	58,992	51,643
固定負債合計	424,407	322,795
負債合計	6,000,450	6,365,331
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,063,526	3,063,526
利益剰余金	802,150	869,900
自己株式	△238,756	△238,955
株主資本合計	3,726,919	3,794,471
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△36,230	38,410
その他の包括利益累計額合計	△36,230	38,410
非支配株主持分	775	776
純資産合計	3,691,464	3,833,658
負債純資産合計	9,691,914	10,198,989

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	14,085,761	17,023,669
売上原価	12,341,076	14,788,000
売上総利益	1,744,684	2,235,668
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	631,818	794,864
賞与引当金繰入額	11,215	49,769
退職給付費用	37,319	38,963
減価償却費	57,251	69,023
貸倒引当金繰入額	—	1,054
運賃	348,919	392,298
その他	653,223	736,335
販売費及び一般管理費合計	1,739,747	2,082,309
営業利益	4,937	153,359
営業外収益		
受取利息	2	22
受取配当金	18,289	20,714
設備賃貸料	7,998	10,165
貸倒引当金戻入額	2,504	1,135
保証債務取崩額	1,054	370
助成金収入	87,065	—
その他	5,250	9,739
営業外収益合計	122,165	42,147
営業外費用		
手形売却損	5,601	7,423
支払手数料	2,000	2,000
持分法による投資損失	60	16
休業手当	105,380	—
その他	297	1,280
営業外費用合計	113,340	10,719
経常利益	13,761	184,786
特別利益		
固定資産売却益	—	1,200
負ののれん発生益	246,465	—
特別利益合計	246,465	1,200
特別損失		
投資有価証券評価損	58,537	—
減損損失	10,208	9,283
特別損失合計	68,745	9,283
税金等調整前当期純利益	191,481	176,702
法人税、住民税及び事業税	24,288	78,371
法人税等調整額	△4,537	△2,900
法人税等合計	19,751	75,471
当期純利益	171,730	101,230
非支配株主に帰属する当期純利益	3	1
親会社株主に帰属する当期純利益	171,726	101,229

（連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）	当連結会計年度 （自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）
当期純利益	171,730	101,230
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56,193	74,641
その他の包括利益合計	56,193	74,641
包括利益	227,923	175,872
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	227,920	175,870
非支配株主に係る包括利益	3	1

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,381,052	782,473	663,901	△238,756	3,588,671
当期変動額					
剰余金の配当			△33,478		△33,478
親会社株主に帰属する当期純利益			171,726		171,726
減資	△2,281,052	2,281,052			—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	△2,281,052	2,281,052	138,248	—	138,248
当期末残高	100,000	3,063,526	802,150	△238,756	3,726,919

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	△92,423	△92,423	772	3,497,019
当期変動額				
剰余金の配当				△33,478
親会社株主に帰属する当期純利益				171,726
減資				—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	56,193	56,193	3	56,196
当期変動額合計	56,193	56,193	3	194,444
当期末残高	△36,230	△36,230	775	3,691,464

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	3,063,526	802,150	△238,756	3,726,919
当期変動額					
剰余金の配当			△33,478		△33,478
親会社株主に帰属する当期純利益			101,229		101,229
自己株式の取得				△199	△199
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	67,750	△199	67,551
当期末残高	100,000	3,063,526	869,900	△238,955	3,794,471

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	△36,230	△36,230	775	3,691,464
当期変動額				
剰余金の配当				△33,478
親会社株主に帰属する当期純利益				101,229
自己株式の取得				△199
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	74,641	74,641	1	74,642
当期変動額合計	74,641	74,641	1	142,194
当期末残高	38,410	38,410	776	3,833,658

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	191,481	176,702
減価償却費	57,458	74,771
のれん償却額	39,857	39,857
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△3,261	△1,135
株式報酬費用	9,954	3,318
賞与引当金の増減額（△は減少）	△901	31,024
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△15,406	△36,046
受取利息及び受取配当金	△18,292	△20,736
助成金収入	△87,065	—
休業手当	105,380	—
持分法による投資損益（△は益）	60	16
固定資産除売却損益（△は益）	80	△1,200
投資有価証券売却損益（△は益）	—	15
投資有価証券評価損益（△は益）	58,537	—
負ののれん発生益	△246,465	—
減損損失	10,208	9,283
売上債権の増減額（△は増加）	18,331	△146,250
棚卸資産の増減額（△は増加）	△218,840	△346,224
未収入金の増減額（△は増加）	△66,603	△18,166
その他の資産の増減額（△は増加）	△22,286	2,877
仕入債務の増減額（△は減少）	△16,166	353,798
未払金の増減額（△は減少）	△844	△10,460
未払消費税等の増減額（△は減少）	△88,838	34,820
その他の負債の増減額（△は減少）	△38,566	12,547
小計	△332,189	158,813
利息及び配当金の受取額	18,292	20,736
助成金の受取額	114,075	1,017
休業手当の支払額	△105,380	—
法人税等の還付額	10,054	16,063
法人税等の支払額	△30,094	△33,093
営業活動によるキャッシュ・フロー	△325,242	163,536
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△31,911	△5,134
無形固定資産の取得による支出	△72,138	△7,720
有形固定資産の売却による収入	—	1,200
投資有価証券の取得による支出	△18,951	△23,981
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△138,780	—
投資有価証券の売却による収入	5,242	429
貸付けによる支出	△180	△2,130
貸付金の回収による収入	—	880
敷金の回収による収入	—	171
投資活動によるキャッシュ・フロー	△256,718	△36,285
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△135,000	—
自己株式の取得による支出	—	△199
配当金の支払額	△28,846	△29,070
リース債務の返済による支出	△8,780	△10,416
財務活動によるキャッシュ・フロー	△172,627	△39,686
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△754,587	87,564
現金及び現金同等物の期首残高	1,536,400	781,812
現金及び現金同等物の期末残高	781,812	869,377

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

すべての子会社を連結しております。

連結子会社の数 2社

連結子会社の名称

関東流通㈱

ファイビストオフィス㈱

わかば紙商事株式会社は、2022年4月1日付で当社との合併を行ったため、連結の範囲から除外しております。

2. 持分法の適用に関する事項

すべての関連会社に持分法を適用しております。

持分法適用関連会社の数 1社

持分法適用関連会社の名称

㈱未来戦略研究所

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の決算日は、連結決算日と一致しております。

なお、上記に記載されている項目以外の事項につきましては、最近の有価証券報告書（2022年6月29日提出）における記載から重要な変更がないため、開示を省略しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、洋紙卸売事業を主な事業として活動を展開しております。なお、「洋紙卸売事業」、「不動産賃貸事業」、「物流事業」を報告セグメントとしております。

「洋紙卸売事業」は、洋紙の印刷会社及び出版会社等への卸売り販売を行っております。「不動産賃貸事業」は、不動産の賃貸を行っております。「物流事業」は、主に洋紙の保管・加工・配送業務を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の売上高は、第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
 前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	洋紙卸売事業	不動産賃貸 事業	物流事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	14,008,053	—	70,121	14,078,174	—	14,078,174
その他の収益	—	7,587	—	7,587	—	7,587
外部顧客への売上高	14,008,053	7,587	70,121	14,085,761	—	14,085,761
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,514	78,000	219,712	306,226	△306,226	—
計	14,016,567	85,587	289,834	14,391,988	△306,226	14,085,761
セグメント利益	240,537	30,902	34,185	305,625	△300,688	4,937
セグメント資産	5,956,099	1,367,792	367,321	7,691,213	2,000,700	9,691,914
その他の項目						
減価償却費	13,423	33,157	1,482	48,063	10,615	58,678
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	97,342	468,350	—	565,692	14,165	579,857

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△300,688千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額2,000,700千円は、本社管理部門に対する債権の相殺消去△1,263,943千円、各報告セグメントに配分していない全社資産3,264,644千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社預金等であります。
 - (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額14,165千円は、本社その他の設備投資額であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. わかば紙商事株式会社の株式取得により、前連結会計年度末に比べて、「不動産賃貸事業」の資産が増加しております。
4. 当社は、2022年1月1日付でわかば紙商事株式会社（東京都江東区）の全株式を取得し完全子会社化いたしました。これにより、負ののれん発生益が246,465千円発生しておりますが、各セグメントには配分しておりません。

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	洋紙卸売事業	不動産賃貸 事業	物流事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	16,935,600	—	56,141	16,991,741	—	16,991,741
その他の収益	—	31,927	—	31,927	—	31,927
外部顧客への売上高	16,935,600	31,927	56,141	17,023,669	—	17,023,669
セグメント間の内部売上高又は振替高	166	78,000	246,538	324,705	△324,705	—
計	16,935,766	109,927	302,680	17,348,374	△324,705	17,023,669
セグメント利益	402,077	45,269	26,651	473,998	△320,639	153,359
セグメント資産	6,417,330	1,335,154	371,762	8,124,247	2,074,742	10,198,989
その他の項目						
減価償却費	12,391	37,353	1,357	51,101	23,669	74,771
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	7,990	4,715	—	12,705	3,029	15,734

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△320,639千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額2,074,742千円は、本社管理部門に対する債権の相殺消去△794,053千円、各報告セグメントに配分していない全社資産2,868,795千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社預金等であります。
 - (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額3,029千円は、本社その他の設備投資額であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	5,511円97銭	5,724円70銭
1株当たり当期純利益	256円47銭	151円18銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎

項目	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	171,726	101,229
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	171,726	101,229
普通株式の期中平均株式数 (株)	669,577	669,573

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

品目別売上高

（重量、金額は単位未満切捨て）

品目別		前連結会計年度 自 2021年4月1日 至 2022年3月31日		当連結会計年度 自 2022年4月1日 至 2023年3月31日		増減	前連結会 計年度比 (%)
			構成比 (%)		構成比 (%)		
印刷用紙	重量 (トン)	59,811	69.3	59,976	60.5	165	100.3
	金額 (千円)	8,280,110	58.8	9,545,094	56.1	1,264,984	115.3
情報用紙	重量 (トン)	24,552	28.5	23,628	23.9	△924	96.2
	金額 (千円)	4,427,118	31.4	4,729,204	27.8	302,086	106.8
産業用紙	重量 (トン)	1,912	2.2	15,453	15.6	13,541	808.2
	金額 (千円)	369,389	2.6	2,169,349	12.7	1,799,960	587.3
その他	金額 (千円)	1,009,144	7.2	580,022	3.4	△429,122	57.5
合計	重量 (トン)	86,276	100.0	99,057	100.0	12,780	114.8
	金額 (千円)	14,085,761	100.0	17,023,669	100.0	2,937,908	120.9

- (注) 1. 当連結会計年度の「その他」は、不動産賃貸、保管、加工、配送等による収入額を記載しております。
 2. 前連結会計年度の「その他」は、注1記載部門の収入額257,940千円のほか、2022年1月1日付で連結子会社となったわかば紙商事株式会社の2022年1月1日から3月31日までの売上高751,204千円を含んでおります。